

## IV おわりに

平成21年（2009）診断の地域がん登録報告書が完成しました。広島県で地域がん登録が始まってから7年が経過した時点の、県内で発症したがんの集計とすることになります。その概要は、下記のとおりです。

全登録数	19,589件	（上皮内がんを含むと22,246件）
男性	11,298件	（上皮内がんを含むと12,684件）
女性	8,291件	（上皮内がんを含むと9,562件）
全部位での DCN 割合	8.1%	（上皮内がんを含むと7.2%）
全部位での DCO 割合	5.0%	（上皮内がんを含むと4.4%）
全部位での IM 比	2.52	（上皮内がんを含むと2.86）
全部位での MV 比	88.2%	（上皮内がんを含むと89.6%）

部位的にみたがん罹患数は男性では胃がんが最も多く、次いで肺がん、前立腺がんの順に、女性では乳がんが最も多く、胃がん、結腸がんの順となりました。平成21年（2009）に診断されたがんではその95%の情報をつかむことができたこととなります。大変精度のよいがん登録であることを誇りに思います。

さて、年齢階級別にがん罹患率をみた成績に注目したいと思います。すなわち、15歳～49歳の年齢階級では男性よりも女性の罹患率の方が高くなっており、その原因は乳がん、子宮がん、卵巣がんに加えて甲状腺がんの発症が高くなっているためであると考えられることです。考えてみればこの年齢階級は人生の最も輝いて活動する時期にあたるわけで、そこで発症して患者となった人々の心身にわたる負担たるや、いかばかりであろうかと思えます。平成22年（2010）診断の地域がん登録報告書から5年相対生存率が発表されることとなりますので、これらのがんの治療に対する効果や予後がある程度分かるようになるのではないかと思います。期待して待ちたいと思えます。

この報告書を作成する立場の者といたしましては、長い歴史のある広島県のがん登録を広島県や（公財）放射線影響研究所のご協力とご努力をいただくことで、何とか歴史をつなぐことができたことに安堵しておりますが、お読みいただく皆様には是非この報告書を有効に活用いただきたいと思えます。

最後に広島県地域がん登録事業にご協力いただきました多くの医療機関や関連の皆様に対して深い感謝の気持ちを伝えたいと思えます。誠にありがとうございました。そしてさらなるご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成25年（2013）3月

広島県医師会常任理事  
有田 健一

平成26年3月訂正